

令和6年度（2024年度）大分大学グローバル感染症研究センター
研究集会報告書

採択番号	2024M06	
申請者に関する事項	氏 名	Mohammad Saffree Jeffree
	所属機関名	Universiti Malaysia Sabah (UMS)
	職 名	Professor
研究集会名	UMS-Oita University Joint Ecohealth Symposium on Human T-lymphotrophic Virus type 1 related diseases.	
開催期間	令和7年（2025年）2月25日	
本センター担当教員	伊波 英克	
令和6年度（2024年度）研究集会の概要		
マレーシア国立大学（UKM）で開催された前回のワークショップ「UKM-UMS-大分大学 第1回ヒトTリンパ向性ウイルス1型関連疾患に関する合同エコヘルス・シンポジウム」を受けて、HTLV-1関連疾患に関する知識を共有することの重要性を認識するため、また、UMSを含むマレーシア全土の研究機関にこの知識を広めるため、第2回ワークショップを開催した。 HTLV-1関連炎症性疾患HAM/TSPの専門家である鹿児島大学の久保田隆二教授がゲストスピーカーとして発表し、会議のオーガナイザーを務めたSyed Sharizman Syed Abdul Rahim准教授がボルネオ島におけるデング熱の感染対策について発表した。		